



信金中央金庫

SCB SHINKIN CENTRAL BANK

地域・中小企業研究所

ニュース&トピックス No. 2022-63

(2022. 8. 8)

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-3-7 TEL. 03-5202-7671 FAX. 03-3278-7048
URL <https://www.scbri.jp> e-mail : s1000790@FaceToFace.ne.jp

信用金庫の預け金残高の動向（2021年度末）

とね かずゆき
刀禰 和之

ポイント

- 2021年度末の信用金庫の預け金残高は、前期比4.2%、1兆9,268億円増加の47兆3,339億円となり、2011年度末から78.8%増加した。
- 地区別の預け金残高は、全11地区で2011年度末から2桁の増加を示す。なかでも北海道、近畿の残高は倍増している。
- 信用金庫別の預け金残高の増減状況を2011年度末と2021年度末で比較すると、増加が205金庫、減少は49金庫となった。増加金庫のうち3倍以上の増加は19金庫あった。
- 信用金庫別の預け金比率（資産合計に占める割合）は、①20%未満が67金庫、②20%～30%未満が107金庫、③30%～40%未満が68金庫、④40%以上は12金庫となった。

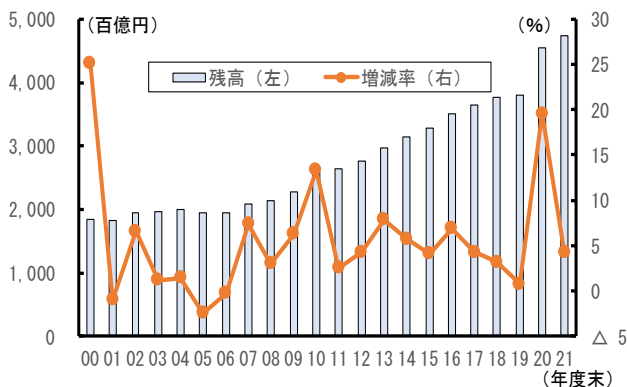
1. 全国の場合

2021年度末の信用金庫の預け金残高は、前期比4.2%、1兆9,268億円増加の47兆3,339億円となった（図表1）。低金利政策などで収益環境が厳しさを増すなか、信用金庫の預け金残高は増加が続いており、2011年度末からの増加幅は78.8%増となる。

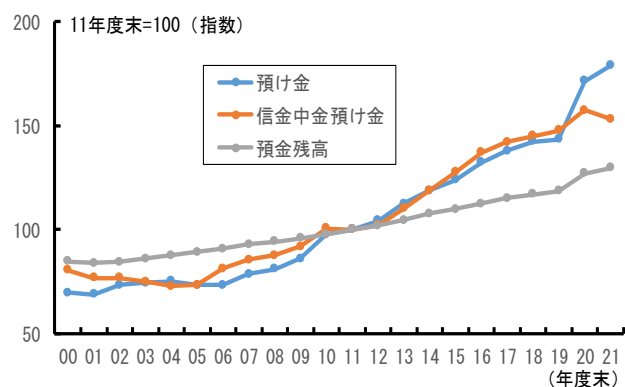
信用金庫の資産合計（180兆410億円）に占める割合は26.2%となり、また余資運用資産（98兆4,798億円）に占める預け金の割合も48.0%に達する。

2011年度末を100として指数化し預け金残高の増減状況をみると、2021年度末には預金残高の増加（129.5）を上回る178.8になった（図表2）。このうち信金中金預け金は、2021年度こそ減少したものの、153.3となっている。

（図表1）預け金残高の推移



（図表2）預け金残高等の変化状況



- （備考）
1. 本稿では、他業態との合併等を考慮しない。
 2. 本稿では、切捨ての関係で合計と内訳が一致しない場合がある。
 3. 図表1から5まで信金中央金庫 地域・中小企業研究所作成

2. 地区別の状況

地区別の預け金残高は、全 11 地区で 2011 年度末から増加している（図表 3）。北海道と近畿の増加率が 100%（2 倍）を超え、近畿も 94.0% 増となった。また、預け金比率（資産合計に占める預け金残高の割合）は、北海道、東北、東京が 30% を超えた。

（図表 3）地区別の預け金残高

（単位：百億円、%）

地区	00年度末	05年度末	11年度末	20年度末	21年度末	11年度末対比		資産対比割合	1金庫あたり残高
						増減額	増減率		
北海道	110.3	87.0	126.8	288.8	293.6	166.8	131.5	31.1	14.6
東北	82.2	83.2	145.6	200.3	207.3	61.6	42.3	30.6	7.6
東京	319.9	389.9	562.0	892.1	976.0	413.9	73.6	30.4	42.4
関東	340.0	381.7	491.6	804.8	837.6	346.0	70.3	25.8	17.0
北陸	56.8	59.5	93.4	109.6	111.4	17.9	19.2	25.6	7.4
東海	333.4	319.6	441.5	830.5	856.8	415.3	94.0	22.5	25.2
近畿	370.2	402.1	506.8	987.5	1,026.0	519.1	102.4	26.3	35.3
中国	104.2	95.2	114.3	170.0	165.4	51.0	44.6	22.1	8.2
四国	33.8	33.2	49.4	86.8	86.3	36.9	74.8	22.4	8.6
九州北部	33.5	35.2	47.1	66.3	66.7	19.6	41.5	22.3	5.1
南九州	51.2	53.3	65.4	96.8	98.7	33.3	50.8	28.4	7.5
全国	1,838.6	1,942.4	2,646.3	4,540.7	4,733.3	2,087.0	78.8	26.2	18.6

（備考）沖縄県は全国に含む。

3. 信用金庫別の状況

信用金庫個別の預け金残高の増減状況を 2011 年度末と 2021 年度末で比較すると、増加が 205 金庫（構成比 80.7%）となり、減少は 49 金庫（同 19.2%）であった（図表 4）。2011 年度末比で預け金残高の増加幅が 200%（3 倍）を超えた信用金庫は 19 金庫ある。

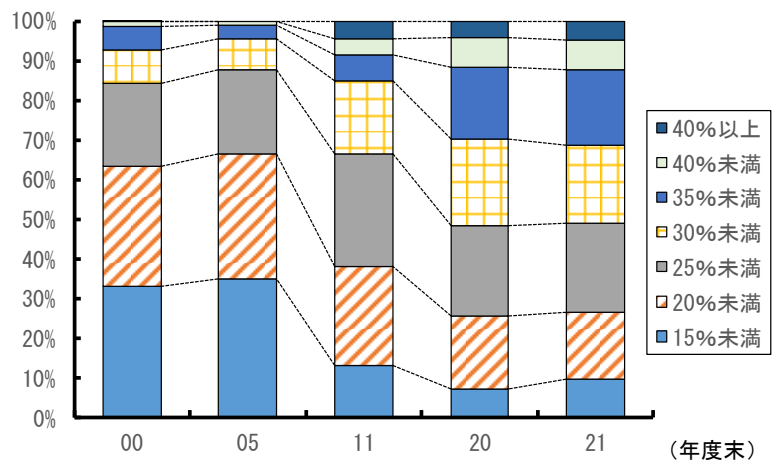
2021 年度末の信用金庫別の預け金比率は、①20%未満が 67 金庫（同 26.3%）、②20%～30%未満が 107 金庫（同 42.1%）、③30%～40%未満が 68 金庫（同 26.7%）、④40%以上は 12 金庫（4.7%）となった（図表 5）。

（図表 4）預け金残高の増減状況
（11→21 年度末）

（単位：金庫、%）

分類	金庫数	割合
増加	205	80.7
250%以上	10	3.9
250%未満	9	3.5
200%未満	17	6.6
150%未満	30	11.8
100%未満	58	22.8
50%未満	65	25.5
10%未満	16	6.2
増減なし	0	0.0
減少	49	19.2
10%未満	15	5.9
50%未満	32	12.5
100%未満	2	0.7
全国	254	100.0

（図表 5）信用金庫別の預け金比率



（年度末）

以上

本レポートは、情報提供のみを目的とした上記時点における当研究所の意見です。施策実施等に関する最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当研究所が信頼できると考える情報源から得た各種データ等に基づいて、この資料は作成されておりますが、その情報の正確性および完全性について当研究所が保証するものではありません。